学校番号	116

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版「現代文Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	「頻出漢字マスター3000」（尚文出版）、「現代文単語」（桐原書店）、「新国語便覧」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年現代文では、近代以降の文章（論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章）を題材に、「読む」「書く」技能をさらに向上させることを目指します。
まずは資料を正しく読み取り、正しく伝わるように記述することを目指します。「正しく」読む・書くというのは文と文・語と語などの関係性を考えながら読み書きすることです。
また、「新傾向」といわれる、実用的な文章を題材にした問題や、複数の資料をふまえて考えるような問題に取り組みます。授業時間は限られているので、漢字や現代文単語、文学史、ことわざや四字熟語などは自宅で復習しておいてください。

2　学習の到達目標

１、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
２、近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
３、進んで表現し、読書することによって国語の向上をはかり、人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し、表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり、聞き取ったり、自分の意見を明確に伝えられるかをみる。	基礎的な語句や慣用句を理解し、様々な表現に対応できるような力を実践できる。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて深く読んだりして自分の考えを発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述内容の確認 記述内容の分析	グループ活動の様子、発言内容 発表の仕方 記述内容の分析	記述内容の確認 記述内容の分析 小テスト 定期考査	発言内容 記述内容の確認 記述内容の分析 定期考査	発言内容 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期前半	評論	「写真の持つ力」(長倉洋海) センター過去問			○	◎		cd:「ジャーナリズムに何ができるのか」について説明する	cd:記述の確認、定期考査
	小説	「檸檬」(梶井基次郎) センター過去問	○			◎	○	ad:主人公の心情の変化を理解する。 e:新興芸術派について理解する。	ade:発言内容・定期考査
1学期後半	評論	「言語が見せる世界」 (野矢茂樹) センター過去問		○	◎	○		bc:「古典的概念観」と「プロトタイプを重視する考え方」の違いを班ごとに考え、記述する。	bc:発言内容・定期考査
	詩歌	「自然の背後に隠れて居る」 (萩原朔太郎) センター過去問				○	◎	d:「僕等」はどのような存在か考える e:近代詩について文学的知識を獲得する	d:記述の確認 e:定期考査
2学期前半	評論・実用的	「身体の個別性」(浜田寿美男) 実用的文章	○		◎	○		a:実用的文章を読む cd:「本源的自己中心性」について理解し、わかりやすく記述する。	acd:記述の確認・定期考査
	小説	「幼なじみたち」(遠藤周作) 問題演習(複数資料の読み取り)			◎		○	c:比喻が表す内容を説明する。 e:第三の新人と呼ばれる作家について知る	ce:発言の内容、定期考査
2学期後半	評論	「であることとすること」 (丸山真男) 大学入試共通試験対策			◎	○		cd:「である」価値と「する」価値の倒錯を再転倒するとはどういうことか、説明する。	cd:記述の確認、定期考査
	評論	「現代日本の開化」(夏目漱石) 大学入試共通試験対策			○	○		cd:「内発的」「外発的」とはどういうことか、説明する。	cd:記述の確認、定期考査
3学期	問題演習	副教材			○	○		cd:大学入試の過去問を題材に、正しく読み書きする。	cd:記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。